

みんなのページは、みなさんが参加するページです。身近な情報をお寄せください。
〒963-8401
鮫川村大字赤坂中野字新宿39番地5
TEL 0247-49-3115
FAX 0247-49-3363
Eメールアドレス
kikaku@vill.samegawa.fukushima.jp
企画調整課企画振興係
「広報さめがわ担当」まで

村民「随想」リレー ①62 自分

前田 大樹 さん D a i k i M A E D A

まえだ・だいき ●昭和62年7月生まれ。赤坂東野字前田在住。棚倉消防署勤務。趣味…マラソン、ジョギング。好きなこと…食べること、話すこと。日課…筋トレ、ジョギング



あなたは、自分に自信があまりありますか？
そう聞かれて何も迷わず「はい」と答えられる人は少ないのではないかと思います。それは、他人に比べられることももちろんですが、何より自分自身が周り自分自身を常に比べてしまっただけではないでしょうか。
私は、他人に認めて欲しいと常に考えてしまいます。しかし、それを悪いことだとは思いません。誰かに認めてほしいから頑張る。それが当たり前だと思えます。仕事でも趣味でもやりがいには自分の努力や成果を少しでも認めてくれる人がいて初めて感じるものだと思います。しかし、私が失敗してしまつた時、それまでの努力を周りにわかつてもらうことはできません。
私は、何に關してもまずは自分を褒めることから始めます。子どもは褒められればそれが次の行動の原動力にもなります。それと同じです。自分の努力も成果も一番その価値を知っているのは自分です。ですから、自分を褒めてあげてください。私は今、毎日が本当に充実しています。考え方や価値観を変えることは難しいことではないと思います。大事なものは自分の気持ちです。
■
次は、岡部和彦さん（赤坂西野字大塩にバトンタッチ！）

広報 文芸 むつき 睦月

短歌

鼻風邪や通院の日や師の呼びて
師走前衷中のハガキ寂しかり
中井 恒峯
捌かんと鯛の目玉ぐるりむく
齋須 信子
放射能のがるすべなし冬仕度
土竜 庵
地震後の黄土の山に秋陽射す
黒田 寿香
手に重き姉丹精の青梗菜
鈴木 米子
孫が追う逃げる夫の息白し
前田 縫子
放射線たわわの柿に降りかかる
松本 精一
復興の奇跡の一本杉年の暮れ
山本 恵子
かさかさ木葉の道を歩きたい
小松 八ル工

短歌

ワイルドカップ女子バレーボール試合より
アタックの決まりし汗の笑顔かな
山本 五十鈴
金さえ出せば何でも買える今の世
に智慧と技法が育つだろうか
坂本 雪絵
線量無く三百俵の初出荷 一等米
の知らせを受ける
鈴木 イミ子
竹島の抗議も出来ず野田さんは黙
認したり韓国の支配を
前田 初
何となく空を見上げて雲にさえ被
曝を怖る老となりたり
遠藤 秀
夏の汗何処ぞへ消えて田圃の風は
告げ来る穂孕みの季を
佐藤 春枝
陽に映えて緑光らす野菜など愛し
むわれの小さな畑
柿沼 鯉乃
垣根には柴木を植えて整える家の
巡りに 囀る鳥ら
須藤 幸子

短歌

本当のすがしき空気に触れたくて
山畑に来る一人の世界
水野 珠子
親切な人の心に触れし日は和む心
に一筆しるす
関根 瑞恵
老の日の和みの一つ方言の昔話を
書き記したり
溝井 清乃
偶に来る友にはあれど鮮らしき話
題を下げてにこやかに座す
坂本 伊紀
密接の政治にあれば何か云う歯に
衣等今日も着せす
一 平子
常ならば緑豊かなほうれんそう育
ちし我畑今年は更地に
石井 幸子
山並みに初雪白くかがやきて冬将
軍の到来ちかし
杉山 磯子
遅ちとして進まぬ事故の収束にせ
まる季節は雪の便りに
松本 一郎
セシウムの数値も少なく豊作の新
米食べれる喜びひとしお
前田 喜三子

短歌

杖なくも歩ける事の嬉しさを維持
して行きたいこれから先も
藤田 千代子
休耕田ままで達者な村づくり実り
ゆたかな千成の大豆
関根 ハナヨ
取り入れも済み我が家の軒下に
セシウム気にせる柿陽に映える
関根 富久
歳たけて今年も越えむと願ひこめ
部屋の日めくり勇み剥ぎ見る
鷲野谷 満
夕蔭の深く静もるグラウンドにポ
ルの一つ動くともなく
板橋 源良
来む年にささやかな夢描きつつ日
記帳を買う師走の町に
関根 キヌ子
放射能除染と汚染の相撲わざまし
てや山林除染は夢か
矢吹 一二
走り去る車の後を追う木の葉くる
くる舞とぶセシウム含みて
北條 平
今日は行く施設通いのバスの中見
渡す紅葉も散り初め舞えつつ
関根 一好

ふくふくの緑 Vol.9

緑のふるさと協力隊・原倫子さんの
鮫川村体験記です。

蕎麦の収穫

まさか自分で蕎麦をぶつなんて、今までの人生で想像したことがあったらうか。この夏、5畝の畑を蕎麦用に借りた。8月9日、大家様に教わりながら種まき。手首を内にスナップを利かせながらのぼらまきだ。11月3日、収穫。近所の方に協力してもらいながら5人で9時から17時まで、鎌で刈上げた。初心者という事で1畝1kgの計算で品種は信州大蕎麦だ…あつすぎた。自分の背丈ほどに伸びて茎は太く、まるでジュウネンみたいだ。実が少ないうわりに、茎が重くて労力がいった。きつと独りでは終わらなかつただろう。手伝ってくれた人々に感謝。この時に「結」の精神を教わった。昔は、田植えや収穫などで人手が要る時は、人々が協力し合う繋がり。本当に助かった。「結」を身をもって知ったと思う。

11月15日、干した蕎麦を棒でたたいて実を落とす。翌日、唐箕（とうみ）にかけて天日に干し、実は60kgあった。12月2日、30kg製粉して22kgの蕎麦粉になった。実の6割らしいから上出来かな。寛ちゃんハウスで教わりながら自分で蕎麦をぶつ。和紙会で試食。蕎麦10割の細めが私の好みだが…思うようにまだぶてません。香りもいまいち。いつの日か人様に「美味しい」と言ってもらいたいな。そうなるまで蕎麦談義が気になって、楽しくて楽しくて。たくさんの人に気にしてもらって、教えてもらって、助けてもらいました。未熟な蕎麦を食べてもらえるのも嬉しいです。あの5畝畑の本当の収穫は、結の心だったと思います。
(文・写真/原倫子)



情報の泉



案内・募集

●東日本大震災の体験・記録・記憶・教訓などを募集します 福島県では、東日本大震災、原子力災害などの体験、記憶、記録などを次の世代に継承していくことを目的として、体験、記録（ホームビデオや携

帯電話などで記録された映像）、教訓などを募集しています。ご協力いただける方は、福島県歴史資料館に電話、ファックスまたはメールで連絡してください。ご提供いただいた情報は、改めて日時などをご連絡の上、収集いたします。なお、体験、記憶、教訓などは、話していただいている状況を映像として収録し収集することになります。/問い合わせ…福島県歴史資料館〒960-8116福島市春日町5番54号、☎024-534-9220(受付時間：午前9時～午後4時30分、土・日・祝祭日、年末年始を除く。臨時休館あ

り)、ファックス024-534-9195、メールoffice@history-archives.fks.ed.jp

●ちびっこ探検学校ヨロン島(ヨロン・アドベンチャースクール)参加者募集 財団法人国際青少年研修協会では、野外活動を通して、友だちづくりの楽しさや協力を助け合い、積極的にチャレンジする心を養うことを目的に野外活動体験事業を実施します。春休みは、一生の思い出に残る楽しい体験をして、たくさんの友だちづくりに暖かな南の島「ヨロン島」に行きませ

か。/日程…平成24年3月27日～4月2日(6泊7日)/場所…鹿児島県大島郡与論町/定員…小学2～6年生(平成24年2月末現在)までの日本人200人および在日外国人小学生100人/締切…平成24年3月7日(水)※申し込み着順/詳細・問い合わせ…文部科学省所管財団法人国際青少年研修協会☎03-6459-4661

●除雪にご協力ください 村では、積雪が15cm以上となった場合に除雪することとしています。除雪は村内の工事請負業者

5社と村が、村道や農道、林道を実施しています。自宅の門口にたまった雪は、それぞれの管理者(所有者や利用者)で雪掃きをしていただくようご協力をお願いします。/問い合わせ…村地域整備課建設係☎49-3116

●正しい操作で安全除雪 毎年、雪のシーズンになると除雪機による事故が多発しています。除雪機を使う際には、使用者の責任において、正しく、安全に作業しましょう。/問い合わせ…社団法人日本農業機械工業会・除雪機安全協議会☎03-3433-0415

話題

●館山公園に記念植樹 平成7年度鮫川中学校卒業生が12月24日、三十三の厄払記念として役員が館山公園にシダレザクラ2本を植樹しました。



看板の両脇にシダレザクラを植樹

教育

鮫川村奨学基金 奨学生を募集します

募集

村教育委員会では、鮫川村奨学基金の奨学生を次により募集します。

募集期間 平成24年2月20日(月)～3月30日(金)

応募資格 ▼鮫川村に引き続き5年以上住んでいるか、住んでいたことがある方▼高等学校、高等専門学校、大学および大学院、短期大学などに在学または今春入学予定の方▼経済的理由により修学が困難と認められること▼国や他の団体から同種類の奨学金の貸与または給与を受けていないこと

貸与月額 ▼高等学校・各種学校(1～3年)：2万円以内▼高等専門学校：5万円以内。ただし、第3学年までは2万円以内▼大学および

大学院・短期大学：5万円以内

貸与始期・期間 平成24年4月から、在学する学校の正規の修学期間

奨学金の償還 ▼貸与は無利子で、卒業後6か月から毎月、10年以内に償還すること。(全部または一部を一時償還することができます)▼大学および大学院を卒業後、鮫川村に居住し、農林水産業に10年間修業した方は奨学金の返還を免除されます。

奨学生の決定 選考委員会で願書の内容を審査し、奨学生を決定します。■申し込み・問い合わせ 村教育委員会教育課教育総務係 ☎49・3151

もうすぐ1年生

平成24年4月に青生野小、鮫川小学校に入学予定の児童は、平成17年4月2日から平成18年4月1日までに生まれたお子さんです。

平成23年12月1日現在の調べで、入学予定の児童は次の25人です。名前間違いや漏れがありましたら、1月16日(月)までに村教育委員会教育課教育総務係(☎49-3151)にご連絡ください。

■平成24年度新入学予定児童

- ▶青生野小(2人)・・・藤田紗輝ちゃん、森田遥麗ちゃん
- ▶鮫川小(23人)・・・石井陸登くん、舟木玲王くん、石井葵ちゃん、齊藤麗愛ちゃん、須藤百香ちゃん、高野恒誠くん、水野陽亮くん、我妻凌くん、我妻佑作くん、金澤徳花ちゃん、渡邊咲来ちゃん、緑川凱くん、鈴木七海ちゃん、生田目早翔くん、藤田杷成ちゃん、森陽輝くん、円谷結愛ちゃん、小松レイちゃん、秦史奈ちゃん、芳賀利哉くん、中川友愛ちゃん、木村光佑くん、藤田友稀くん

周りのみんなが優しく接してくれます。

■仕事はどんなことをしていますか？
白河オリンパスで、修理した内視鏡の出荷検査をしています。

■仕事で心がけていることはありますか？
検査したものがそのまま病院に納品されるので、どんな小さな不具合も見逃さないように心がけています。

■休日はどんな風に過ごしていますか？
休日は家族で出かけることが多いです。長期の休みがあれば、子どものために少し遠出をして、いろいろな体験をさせています。

■これからチャレンジしてみたいことはなんですか？
最近はじめた家庭バレーボールをもっと上達させたいです。

■村に住んでいて感じることや、現在の村についてどう思いますか？
鮫川村にきた当初は、いろいろな心配もありましたが、近所の人たちが行事に誘ってくれたり、周りのみなさんが優しく接してくれるので、楽しく毎日過ごしています。

■村に必要なもの、要望などはありますか？
子どもを遊ばせるようなちよつとした公園が近所にあるといいですね。あと、小さい子どもがいるので洗濯物が多く、天気が悪い日が続くと困るので、村内にコインランドリーができれば便利です。

■次は、前田あゆみさん(赤坂東野字前田在住)の予定です。



なかがわさい かおり
中川西 香央里さん(23歳)
[赤坂東野字中内在住]
誕生月 昭和63年8月
血液型 A型
星座 しし座
趣味 育児

学校だより

(第87回)
鮫川中学校 編
佐藤 勝久 校長
生徒 98人

おいしいバイキング給食



十月二十七日、バイキング給食が実施されました。これは、毎年三年生を対象に行われていたもので、栄養のバランスや食事のマナーを体験的に学ぶことを目的としています。

山ほどあった料理をきれいに残さずいただき、満足の笑顔でした。また、来年もお願いします。給食センターに感謝です。

「第3回 sun3プラン・さめがわ授業研究会」開催

十一月十一日に「第三回 sun3プラン・さめがわ授業研究会」が本校で行われ、小学校の先生方も授業を参観していただきました。



今回は、国語・数学・家庭の三科を行い、活発な意見交換が行われました。「先生が教えること」「子どもから考えさせること」「子どもから引き出したいこと」を明らかにしていくことなど、取り組みの成果と多くの課題を指摘していただき、学びを深めることができました。

第三十四回壇の岡祭 大成功

今年で第三十四回を迎えました本校伝統行事「壇の岡祭」を十月二十二日、村公民館で行いました。早朝にもかかわらず、大楽村長をはじめ多数の方々にご覧いただきました。総合的学習の発表から始まり、太鼓・各種弁論発表、合唱コンクールなどがあり楽しんでいただけただけではないでしょうか。本当に限られた時間の中ではありましたが、子どもたちも「笑顔」をテーマに一生懸命に取り組み、また、「生きる力」の糧を見出せたと思います。



壇の岡祭

体育館復旧工事はじまりました

大変ご迷惑をおかけしておりますが、ようやく体育館の復旧工事に入っていたことができ、安全安心な環境の下で授業が展開していただけることを心待ちにしております。

(文・写真 鮫川中学校)